第67回「奥の細道」

羽黒山 全国俳句大会

令和七年 十月十九日(日)

●選者
西村 麒麟(にしむら きりん)

1983年大阪府生れ、広島県尾道市育ち。東京都江東区在住。2005年「古志」入会、長谷川櫂に師事。2009年第1回石田波郷俳句新人賞受賞。2014年第5回田中裕明賞受賞。2016年第7回北斗賞受賞。2019年第65回角川俳句賞受賞。2023年俳句結社「麒麟」創刊。2025年第75回芸術選奨新人賞受賞。句集に『鶉』『鴨』『鷗』。

代表句
インバネス死後も時々浅草へ

●主　催　第67回『奥の細道』羽黒山全国俳句大会実行委員会(出羽三山神社・鶴岡市)
●後　援　山形県・鶴岡市教育委員会・羽黒吟社・羽黒町観光協会
●協　賛　角川文化振興財団・山形県観光物産協会・庄内たがわ農業協同組合・奥の細道観光資源保存会・㈱庄交コーポレーション

羽黒山五重塔ライトアップ

第六十七回『奥の細道』羽黒山全国俳句大会

概　要　◆俳聖「松尾芭蕉」が出羽三山を訪れ、多くの名句を残した元禄二年。その「奥の細道」の聖地は、多くの俳人たちに愛され現在に受け継がれています。時を経て昭和三十一年に高浜虚子翁の来山を機に、昭和三十四年から羽黒山全国俳句大会を開催し、以来六十七年目を迎えました。

今大会は、「麒麟」主宰、「古志」同人の西村麒麟先生に御来山いただき、羽黒山全国俳句大会を左記要項にて賑々しく開催致します。また、大学生・高校生を中心とした若者たちの俳句人口増加に伴い、当大会に於きましても新たな年代層を受入れ、未来に繋げたく「Z（ゼット）の部」を開設致しております。奮ってご参加戴きますよう御案内申し上げます。

尚、「ふるさとを愛する心」を育んでほしいとの願いから「子どもの部」を併せて開催致します。

〈一般の部・Z（ゼット）の部　兼題　投句要項〉

※Zの部 対象 高校・専門・大学生まで

兼題の部◆自由題、未発表句
選　者◆西村麒麟先生（「麒麟」主宰、「古志」同人）
部　問◆一般の部 年齢制限なし
　　Zの部 高校・専門・大学生
投句料◆一般の部 一、〇〇〇円（二句一組に付き何組でも可）
　　Zの部 無料（一人一句）
締　切◆令和七年八月十二日(火)まで必着
投句先◆『奥の細道』羽黒山全国俳句大会実行委員会事務局
投　句◆応募用紙に必要事項を記入の上、投句料を同封し郵送のこと
　　神社ホームページより投句用紙ダウンロードできます
★一般の部兼題投句者のみに、句集「南谷」をお送り致します

〈本大会　投句要項〉

本大会の部◆席題（当日発表二句一組）
期　日◆令和七年十月十九日(日)
会　場◆いでは文化記念館
受　付◆午前八時三十分～
投句締切◆開会行事終了後
会　費◆一般の部 二、〇〇〇円（投句料・昼食）
　　Zの部 一、〇〇〇円（投句料・昼食）
選　者◆西村麒麟先生

〈子どもの部　投句要項〉

対　象◆小学四年生～中学三年生
題　材◆身のまわりの物事で、見たり聞いたりして自分が感じたことなどを投句してください
投句料◆無料（一人一句）
選　者◆西村麒麟先生
投句締切◆令和七年七月二十八日(月)まで必着
★子どもの部お問い合わせは、いでは文化記念館へお願い致します

※一般の部・Zの部・子どもの部共に、類句・二重投句（他の俳句大会、結社誌、雑誌などに発表した句）については、審査のうえ、入選を取消すことがあります。

〈大会事務局・お問い合わせ・投句先〉第六十七回『奥の細道』羽黒山全国俳句大会実行委員会事務局
〒九九七-〇二九二　山形県鶴岡市羽黒町手向字手向七　電話〇二三五-六二-二三五五　FAX〇二三五-六二-二三五二

〈子どもの部・お問い合わせ・投句先〉いでは文化記念館
〒九九七-〇二一一　山形県鶴岡市羽黒町手向字院主南七二　電話〇二三五-六二-四七二七　FAX〇二三五-六二-四七二九

本大会

■十月十九日(日)　いでは文化記念館

午前八時三十分～　席題発表・受付
午前十時～　開会　あいさつ
午前十時三十分　投句締切
午前十時三十分～　記念講演　西村麒麟先生
午前十一時五十分～　記念撮影
正午～　昼食
午後一時～　兼題・本大会　選評
午後一時四十五分～　子どもの部　受付
午後二時～　子どもの部　選評
午後二時三十分～　表彰
午後三時三十分～　閉会
★閉会後、入賞者記念撮影を行います

当日、本大会参加の皆様へ記念品を準備しております。

子どもの部（本大会に併せ開催いたします）

■十月十九日(日)　いでは文化記念館

午後一時四十五分～　受付
午後二時～　選評
午後二時三十分～　表彰
午後三時三十分～　閉会
★閉会後、入賞者記念撮影を行います